



こども海洋リサーチ  
“調査レポート”



グループ名	岩屋谷川調査隊
海洋センター・クラブ名	兵庫県丹波市山南町 山南 B&G 海洋センター
担当者名	加藤恵康
グループ構成	小学4年生 27人 (調査活動毎回全員参加)
調査の中心となった方	丹波市立小川小学校教諭 細見みゆき 野田はつみ 梶自然愛好会 藤原 利正

レポートの題名	岩屋谷川をもっと楽しい川にしよう
調査場所	岩屋谷川上流から河口まで

調査目的	学校の横を流れる岩屋谷川は、子ども達にとって、近くて遠い川。その川に親しみ、川を大切にし、自然環境を守っていく子どもを育成するため。
調査場所の水辺の特徴や歴史	平成9年の台風により、堤防決壊等の被害を受け、河川改修された。平成15年に「自然と人が共生する川」として河川改修が完了し、水生生物等が次第に増え始めている。
調査の手順や実施方法	子ども達自身が課題を見つけて、課題別グループごとに課題追及していく。
調査内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 遊びグループ・・・岩屋谷川でできる遊びを調べる。</li><li>・ 川の形グループ・・・流れの速さ、深さ等、危険な場所を調べる。</li><li>・ 生き物グループ・・・どんな生き物が生息しているか調べる。</li><li>・ 景色グループ・・・景観の良いところを調べる。</li><li>・ ごみグループ・・・ごみの量や種類、水質を調べる。</li></ul>

<p>調査分析</p>	<p>資料参照</p>
<p>グループ内で話し合った項目、特に意見が分かれた点</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 課題追求のための活動・調査方法（資料参照）</li> <li>・ 活動のための準備物</li> <li>・ まとめ方</li> <li>・ 発信方法・・・最も意見がわかれたのがこの部分（だれに、どんな方法で、どこで発信するのか。）</li> </ul>
<p>調査の結果わかったこと、発見したこと、疑問に思ったこと</p>	<p>資料参照</p>
<p>わかったことや発見したことをどうやって他の人に伝えようと思いますか</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 遊びグループ・・・ホームページで全国の人に向けて発信 ポスターを観光案内所等に掲示</li> <li>・ 川の形グループ・・・全校集会にて全校生と地域の人々に発信 幼稚園と保育園にて「川の危険について」の劇を上演</li> <li>・ 生き物グループ・・・全校集会にて全校生と地域の人々に発信 同時に教室前にミニ水族館を設営</li> <li>・ 景色グループ・・・景色ウォークラリーを計画。地域の人と全校生に参加を呼びかけ、100人が参加。 同時に景色案内のちらしを地域に全戸配布。観光案内所にも置かせてもらう。</li> <li>・ ごみグループ・・・ごみの量や種類、水質を調べる。</li> </ul>
<p>調査した場所や内容についての感想や意見について</p>	<p>活動終了時にアンケートをとったので、それを資料とする。資料参照</p>



ボールを流して、流れの速さを測る。



棒を使って深さを測る。



生き物採り



採集したものの判別



話し合い



ごみ調べ





話し合いの板書



生き物発表



川の水質の発表



遊びのランキングの発表



発表会



幼稚園での劇



100人が参加した景色ウォークラリー